

# 『博物館実習』取材しました！

学芸員の資格を取得するためには、大学で博物館学などの学芸員養成課程を学び、単位を取得することなどが必要となります。その中で必修とされる博物館などでの実習課程について、芝山町立芝山古墳・はにわ博物館において大学生の実習生を受け入れました。

## 学芸員とは？

博物館や美術館、動物園などで働く博物館法に定められた専門的職員のことをいいます。主な仕事は、資料などの「収集」「整理・保管・修理」「公開・展示」「研究・分析」「教育普及活動」です。

取り扱う分野は多岐にわたり、考古学や民俗学、美術史、歴史学、地学、生物学といった専門的な知識が求められます。

## ●博物館実習のスケジュール（合計7日間）

### ■7月29日(水)

考古資料の取り扱い、管理に関する実習(展示資料の搬出、室内の環境整備、展示作業)

### ■7月30日(木)

芝山町の史跡、文化財視察(芝山古墳群【殿塚・姫塚】、観音教寺)

### ■7月31日(金)

民俗・建造物に関する実習(民具資料の受け入れ、建造物の状況調査)



▲寄贈された民具を旧藪家住宅に受け入れ



▲旧笹喜旅館の建物状況調査(建物内部・外部)

### ■8月1日(土)

教育普及に関する実習(勾玉づくり、火おこしの体験学習)



▲納得いくまで石を削り形成する「勾玉づくり」



▲熟練の技で火をつける「火おこし」(マイギリ式)

### ■8月2日(日)

歴史資料の取り扱いに関する実習(古文書の整理【目録の採り方】)

### ■8月3日(月)

博物館休館日のため実習もお休み

### ■8月4日(火)

展示に関する実習(展示資料台帳の作成)

### ■8月5日(水)

展示に関する実習(展示用パネルの作成)、実習報告書の作成



▲博物館内の展示用パネルを手作業で作成



▲作成したパネルをどこに展示するかレイアウト

## <7日間の日程を終えた実習生の声>

都内大学に通う山武市出身の八角さん(文学部4年生)。「自分は考古学を専攻しているのですが、今回芝山町の歴史や文化財を学ぶことができ、非常に勉強になることが多かったです。また、どの内容も新鮮で楽しみながら実習することができました。とても貴重な経験になりました」と感想を述べてくれました。

## あとがき

◆7月までの長雨がようやく終わったかと思えば、8月以降暑い日が続きますね。皆さん熱中症に気をつけてお過ごしください。◆さて、「国勢調査」が始まりますね。5年に1度、日本に常住する全ての人と世帯を対象とした重要な統計調査です。◆国勢調査は今年で100年目を迎え、第1回目の調査は元内閣総理大臣原敬が実施しました。また、当時欧米諸国ではすでに実施されていたということで、「いよいよ日本でも実施される、日本が一等国の仲間入りになる」といった話が出回り、国中がお祭り騒ぎになったそうです。◆総務省統計局発行「国勢調査100年のあゆみ」の内容を一部紹介してみました。非常に興味深い内容ですので、皆さんも一読いただき、ぜひ国勢調査にご協力いただければと思います！ (D)

◆今月号で取材した第三保育所の夕涼み会(こっこ)。写真を撮っているとお姉さん「これあげる！」とかわいい声が聞こえたので、カメラを下ろし振り返ってみると、一人の女の子が両手にチョコバナナを持って立っていました。◆話を聞いてみたところ、お金をたくさん持っていたから私の分を買ってくれたとのこと。女の子の優しさとかわいさぷらにとても癒されました。◆新型コロナウイルス感染症拡大から約半年。少しずつ町内のイベントや行事などが再開し始めたところで、取材先で町民の皆さんとお会いできるこの嬉しさを改めて感じています！◆これからも皆さんの元気な姿や町の魅力などを発信し、より良い広報紙が作れるように頑張ります！ (N)